

【2023 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
解剖学Ⅱ		(リ理.理) 必修 (福.人) 選択	2	(リ理.理) 1 (福.人) 2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
坂本 宏史 他	D305	sakamoto		水曜日 10:00~13:00	
授業の目的・概要	理学療法・作業療法など医療の専門領域を学ぶための基礎として、人体の構造と機能に関する正確な知識と理解が必須である。解剖学Ⅱでは、中枢神経系(脳・脊髄)の構成および末梢神経(脳神経・自律神経)の構成を理解することを目的とする。さらに、これらの神経が支配する構造と機能とともに、神経系と関連が深い「感覚器系」の構造と機能を理解することを目的とする。講義では、①中枢神経系(脳・脊髄)、末梢神経系(脳神経・自律神経)の構成と解剖学的位置について、②それらの主な機能について説明する。③感覚器の構造と関連する神経の入力・出力について説明する。対面授業を基本に行うが、Microsoft Teams を使って資料の説明や、小テストを行う。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク)				
学習上の助言	[事前・事後学習について] 毎回の講義の終わりに次回の内容について概要を説明するので、予習・復習を兼ねて解剖学の教科書と併せて生理学、運動学の教科書や講義資料にも目を通すことを勧める。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版 /編：野村 巖 /医学書院 /2020				
参考書	解剖学講義 第3版/ 伊藤隆原著/ 南山堂 /2012 標準組織学 総論・標準組織学 各論/ 藤田尚男・藤田恒夫 / 医学書院 /2017				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	中枢神経系の構成および末梢神経(脊髄神経・脳神経・自律神経)の構成を説明できる。			RH(2), (5), HSU(1), (2)	
②	各神経が支配する構造と機能を説明できる。			RH(2), (5), HSU(1), (2)	
③	感覚器系の構造と機能を説明できる。			RH(2), (5), HSU(1), (2)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間(時間)	
1	神経総論: 神経系の基本的な構成について学ぶ。髄膜および脳室について学ぶ。	[担当: 坂本宏史、志茂聡]	講義	教科書 P.229-237 配布資料で予習・復習	4
2	中枢神経 1: 神経系の発生および脊髄の構造について学ぶ。	[担当: 坂本宏史、志茂聡]	講義	教科書 P.237-245 配布資料で予習・復習	4
3	中枢神経 2: 脳幹(延髄・橋・中脳)・小脳の構造および機能について学ぶ。	[担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P.245-256 配布資料で予習・復習	4
4	中枢神経 3: 大脳・間脳の構造および機能について学ぶ。	[担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P.256-267 配布資料で予習・復習	4
5	神経学総論・中枢神経のまとめ(小テスト) 末梢神経の概略: 末梢神経系の基本的な構成について学ぶ。	[担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P.278-280 配布資料で予習・復習	4
6	脊髄神経 1: 頸部および上肢の神経について学ぶ。	[担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P.280-289 配布資料で予習・復習	4
7	脊髄神経 2: 体幹および下肢の神経について学ぶ。	[担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P.289-300 配布資料で予習・復習	4
8	脊髄神経のまとめ(小テスト) 脳神経 1: 脳神経Ⅰ~Ⅴについて学ぶ。	[担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P.300-305 配布資料で予習・復習	4
9	脳神経 2: 脳神経Ⅵ~ⅩⅡについて学ぶ。	[担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P.305-311 配布資料で予習・復習	4

【2023 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

10	自律神経: 自律神経系の構成や機能について学ぶ。	[担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P.311-314 配布資料で予習・復習	4
11	脳神経および自律神経のまとめ (小テスト) 感覚器系 1: 外皮の基本構造および皮膚の感覚器について学ぶ。	[担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P.319-323 配布資料で予習・復習	4
12	感覚器系 2: 視覚器 (眼球・副眼器) の基本構造について学ぶ。	[担当: 坂本宏史、志茂聡]	講義	教科書 P.323-326 配布資料で予習・復習	4
13	感覚器系 3: 平衡聴覚器 (外耳・中耳・内耳)、嗅覚器、味覚器の構造について学ぶ。	[担当: 坂本宏史、志茂聡]	講義	教科書 P.326-331 配布資料で予習・復習	4
14	神経路 (伝導路) について学ぶ。	[担当: 坂本宏史、志茂聡]	講義	教科書 P.268-277 配布資料で予習・復習	4
15	感覚器・伝導路のまとめ	[担当: 志茂聡、坂本宏史]	講義	教科書 P.268-277, 319-331 配布資料で予習・復習	4
試	期末試験 (感覚器・伝導路)				

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		100	0	0	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末に期末テスト (25%) ならびに授業内におこなう小テスト (3回 合計 75%) で評価する。主に教科書および授業内で配布する資料中のキーワードから出題する。				テストを採点后、Teams を利用して講評	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							

【2023 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員	志茂 聡			
教員の実務経験	<p>志茂 聡は、解剖学で博士号（医学、山梨大学）を取得しており、本学（専任教員）および山梨大学医学部解剖学講座構造生物学教室（非常勤講師 令和4年現在）にて長年解剖学の教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。作業療法士免許を有し、実務経験は10年である。</p> <p>坂本 宏史は、解剖学で博士号（医学）を取得しており、本学（専任教員）および山梨大学医学部で長年解剖学の教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。</p>			
実践的授業の内容	<p>人体の構造に関わる項目の概念は、書物や視聴覚教材によってある程度理解することができるが、臨床時に応用できるまでの確固たる知識や具体的イメージの獲得は簡単ではない。この授業では、実際に人体解剖に長年携わってきた教員により、経験に基づく多角的視点から具体的な解説がなされるため、臨床家を志す受講者や人体解剖学に興味がある受講者にとって、分かりやすく現実に即した知識を得ることができる。</p>			
そ の 他	<p>対面で行う授業中となるが、資料提示や質問・コメントの受付に一部オンライン（Teams）を利用する。また、授業内に予定している小テストは、Teams を利用するので、登校の際 PC を持参すること。今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによって、シラバスが変更される可能性がある。</p>			